



美浦のストーリー「くわやのマドレーヌ、その後」

広報みほ5月号で、木原商店街の「くわや」さんを取材したその後。記事がきっかけとなり、7月3日に、家庭教育学級「あったか家庭塾」にて、くわやの青野さんをお招きし、「おうちで作れる美浦の名物～くわやのマドレーヌを再現しよう～」という講座が開かれるということで、取材に行ってきました。

「あったか家庭塾」は、もともと美浦村の幼稚園や小中学校の保護者が各学校で実施していたのですが、児童数減少などにより、今は役場生涯学習課にて運営しているそうです。

この日の参加者は12名で、青野さんが各テーブルを回り、マドレーヌのつくり方やレシピに載っていないコツを教えたり、マドレーヌ以外のことについても、参加者が青野さんの周りに集まって質問をしていました。

参加者に参加理由を聞くと、「普段は参加しないが楽しそうだから参加した」、「くわやのマドレーヌが懐かしく、また食べたいと思い参加した」など、さまざまなきっかけで皆さん参加していました。

また、本講座にあたり、青野さんはマドレーヌの焼き時間など試作を重ねたそうで、今回は製造量が少なく、オープンも家庭用なので、お店と同じようにはできないとのことでした。

「家で子どもと作りたい」や「みほ一すの焼印は借りられるのか」などの声に参加者から上がり、企画した職員の方は、「想像以上に反響があり、中にはくわやさんに興味を持った方もいて、住民同士が繋がる場づくりができて良かったです。」とおっしゃっていました。第2弾も楽しみです！



←マドレーヌづくり風景



→みほ一すの焼印を押しているところ



みほ文芸

正調俚謡 日和吟社 字結び「百日紅」

山の中腹ひと息つけば誰を待つのか百合の花
食と運動気をつけながら趣味を楽しむ目指す百
紅を差す時心が躍る彼は気づいてくれるかな
暑さどうなる今年の夏は気象予報が気にかかる
喜寿の祝いを元気に迎え父母に感謝と書く日記
客の来た日に彩どり添えて鳴くようぐいすほととぎす
紅を引くのも忘れていたがマスク外して色を差し
百を指して生き抜く為に減らすストレス増やす趣味
あなた待ってね百歳までは生きるつもりと紅を引く
今日も健康百才目指しのろい動作もなんのその
女性活躍政治に医療咲いて明るい百日紅
客の顔紙め歓迎する猫日々に可愛さ増す仕草
変わる顔ぶれ日銀紙幣拝む栄一高金利
亡父の日記で読み取る戦後地域絆の深さ知る
親に貰った丈夫な身体今日も感謝で鉄を振る
朝日まぶしいいつもの人に交わす会釈がただ嬉し
七月の俳句 (題 当季雑詠)
サクランボ食べた笑った母もいた
ドウドウの滝を眺めつ鮎づくし
耳澄ます葦切の声元気で
ねじ花や行き違いのまま友逝きし
沙羅落花踏むまじと熟女遠回り
声大き熟女ばかりの暑気払い
沖縄忌今日も米軍闊歩する
少子化の祇園祭りに神興なく
草や泥めげずに運ぶ夏燕
蜘蛛の糸切れれば去り早境に



(五十音順)

山口美代子 村崎典子 松葉統子 増尾尚子 長田敏笑 中島輝子 田島早苗 高柳幸子 海道民子 市川紀行 山崎泰弘 山崎笑子 山崎亜子 増尾青蓮 長谷川悦子 沼崎朋香 塚本夏雲 田島草実 高橋一步 関根秀子 門脇悠美 小藺江久美 上野八千代 井戸賀蘇道 伊藤葉子 石戸律華